

高等学校ラグビーフットボール大会新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

＜ 日本ラグビーフットボール協会所管 47 都道府県協会主催の試合・大会の開催条件 ＞

都道府県ラグビーフットボール協会は次の条件を十分に検討し、都道府県協会主催の試合・大会の開催の可否を決定する。

- (1) 当該都道府県の緊急事態宣言が解除されている。
- (2) 各都道府県の自治体からの自粛要請、教育委員会等からの休校措置、部活動制限の枠組みの中で実施する。
- (3) 日本ラグビー協会の感染防止対策ガイドラインにもとづく対策を講じる。
- (4) 当該都道府県の感染状況を十分に考慮する。
- (5) 無観客試合とする事を原則とする。

【 基本原則 】

- 1 いわゆる3つの密（密閉・密集・密接）を徹底的に回避する。
- 2 移動前の手洗い・検温の徹底とバスなどによる移動時の濃厚接触を回避する。
- 3 試合と直接関係ない人の来場を避ける。
- 4 参加者から新型コロナウイルス感染に関する報告があった場合や感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について当該衛生部局・保健所等関係機関と予め検討しておく。
- 5 各チームは「新型コロナウイルス問題担当者」を指名し、WRの「COVID-19Courses」受講を資格条件とし、窓口を一本化することをチームと大会運営関係者で決めておく。

【 関係者のカテゴリー 】

- 1 大会運営関係者（高体連役員・協会役員、マッチオフィシャル、マッチドクター、補助員等）
- 2 学校関係者（責任教師、監督、顧問、メディカルスタッフ、マネージャー、選手、控え部員、指導者、保護者）
- 3 メディア関係者（報道・写真業者）

【 共通 】

試合に関わる全ての関係者は、試合日の2週間前からの行動歴（いつ、どこで、誰に会った、など）を記録しておくこと。

【 大会運営関係者の対策 =事前= 】

- 1 すべての試合は、原則無観客試合とする。
- 2 スタンドへの入場は、使用する競技場の利用条件の範囲内において、上記1, 2, 3の関係者に限り、これを認める。

以上のことから、今大会においては、【 関係者のカテゴリー 】 1大会運営関係者、2学校関係者、3メディア関係者に限り、事前に各チームの責任者より入場許可申請のあった方を対象とします。よって、会場への入場は、主催者発行の入場許可証を確認された方のみとなります。

多くの皆様に観戦いただきたいところではございますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、このような判断といたしましたので、ご理解と御協力をお願いいたします。